



発寒ひかり
保育園だより

2026年

3月号

巻頭言

2023年8月の巻頭言で紹介させてもらった広島平和記念資料館に収蔵されている被爆遺品を撮影した写真集「ひろしま」の石内都さん。少し前に東京に行く機会があり、その際『東京都写真美術館』で開催されていた展覧会で、この「ひろしま」のシリーズの一部と新作を一緒に観ることが出来ました。

写真集のサイズとは全く違う大きな写真たちが白い壁に複数レイアウトされており、被爆80年目の2025年にも新しい遺品が寄贈され、それを撮影したという事実にとっても衝撃を受けました。インタビュー動画の中で石内さんは「(略)実はこれは80年の時間の塊です。(略)」と話されています。決して過去のものではなく、現在進行形のものなのだと感じました。

この現在、世界の状況を見渡すと複雑な状況が絡み合い、決して明るだけではないと感じます。だからこそ、これからの未来を生きる子どもたちに私たちが出来ることは「人としての育ち」をしっかりと支えることです。

当園の基本方針の一つとして「愛情に満ちた家庭的な雰囲気」という言葉があります。保育園は小さな学校ではなく、子どもたちが日中を過ごす大きな家庭です。一人ひとりが周りの友だちや職員に受け入れられ、笑いあい、思いあい、困難を乗り越えたり、時にはぶつかりあったりもしながら、たくさんの経験を通して豊かな人間性を育んでほしいと思います。

もう少しできりん(年長児)さんは卒園を迎えます。当園で過ごすみんなが、一日一日を大切に積み重ねていけるよう支えていける職員集団でありたいです。

園長 阿部 尚子